

まちづくりラボ・プロジェクトの拠点「ミントポ」の取組み

令和7年度（9月～）これまでの活動

ア 暮らしや地域活動のニーズに関する取組み

名称[開催時期]	目的及び内容
ほうかごミントポ クラブ (教育委員会後援 事業) [R5.12～]	<p>駅前の子どもの居場所づくりとして、毎週水曜日の午後、カフェ店内の小上がりを近隣小学生の放課後の居場所として開放し、子どもたちの交流と遊びの場を提供。</p> <p>近隣小学校の高学年児童の利用があり、宿題や工作、読書など思い思いの時間を過ごしている。</p> <p>ほうかごミントポクラブを楽しみに定期的に通う地域の子供たちも一定数おり、最近では毎回 10 名以上の利用があるなど、子どもたちの居場所として機能している。</p> 
Cleanup& CoffeeClub (CCC) [R7.2～ 毎月第二日曜継続 開催]	<p>ミントポ周辺にて、地域の繋がりを育む取組みとして毎月開催。ゴミ拾いというアイスブレイクを通じて、顔見知りやつながりを増やし、地域コミュニティの醸成や居場所を目指す。</p> <p>8月は猛暑のためごみ拾いは行わず、参加者とともにミントポ内でごみ拾いルートの見直しやごみの多いエリアの共有を行った。ごみ拾いをテーマに活発に意見交換ができ、交流を深める会となった。</p> <p>活動が地域に根付いてきており、9月・10月と各回10名以上の参加があった(11・12月は雨天中止)。複数回参加されている常連の参加者もあり、参加者同士の交流が活発になってきている。</p> 

<p>夕涼み祭り (地域商店等連携) [R7.9.27、28]</p>	<p>足立区内のお店が12店舗出店するマルシェのほか、子ども向けのワークショップや音楽ライブなど、多様なコンテンツを備えた夕涼み祭りを開催した。本イベントは毎年恒例の取り組みとして地域に定着しており、楽しみに来場する方も多く、2日間で延べ900人が来場。大盛況に終わった。</p> 
<p>タケノツカハロウィン2025 (地域商店等連携) [R7.10.25]</p>	<p>親同伴のもと子どもたちが仮装をして、地域のスポットを巡るハロウィンイベントを開催。かりんロード商店街の店舗や神社等と連携し、子どもたちが訪れた際にはお菓子を配布する等、地域一体での取り組みとなった。</p> <p>計32組の参加があり、参加した子どもたちからは、「イベントに向けて衣装づくりなど準備の段階から楽しかった」「地域みんなが優しく楽しかった」「ゆっくりと竹ノ塚駅周辺を歩くことがなかったのでもいい思い出になった」といった感想が寄せられた。</p> 
<p>フレッシュガーデン作り (地域商店連携) [R7.11.30]</p>	<p>商店街の生花店と連携し、季節に合わせたワークショップイベントを開催(参加者8名)。参加者同士の交流が生まれ、リピーターの参加も見られるなど、地域住民とのつながりが深まっている。参加者からは、「ワークショップの後にお茶会が付いていて皆さんとお話ができるのが嬉しい」「次回も楽しみ」といった声が寄せられた。</p> <p>また、店舗同士が連携することで、お店を行き来する人の流れも広がり、地域の回遊を生み出している。</p> 

クリスマスオブジェ作り
(足立区連携)
[R7.12.6]

松ぼっくりを使ってミニクリスマスツリーを制作する子ども向けのワークショップを開催。足立区のまちづくり課と連携し、9月に閉鎖となった竹の塚第五公園の松ぼっくりを活用した。4組(5名)の親子が参加し、制作を通して参加者同士がアイデアを共有するなど、交流を深めながら取り組んだ。

参加者からは「松ぼっくりでいろいろなものがつくれて楽しかった」「自然のものに触れられて楽しかった」「娘が楽しそうで私も嬉しかった」といった声が寄せられた。



クリスマスライブ
[R7.12.13]

毎年恒例となっているプロの演奏家による生演奏イベントを開催。(参加者 32 名)

クリスマスに合わせ、ミュージックベルを用いて来場者も演奏に参加できる参加型ライブを実施した。参加者からは「1才の子どもベルを触らせていただけて貴重な体験でした」「ベルの優しい音に癒された」といった声が寄せられた。

また、生演奏が流れてくるまちの光景に対して「家のすぐそばで素敵なライブがあってよかった」など、前向きな意見が多く寄せられた。



イ 未来の竹の塚を考えるきっかけづくりの取組み

名称[開催時期]	目的及び内容
<p>アイデアカード [R5.7~]</p>	<p>「あったらいいな！こんな竹の塚」というテーマで募集しているアイデアカードは通算約300枚集まり、まちの未来に期待する声や展示やイベントを見て感じたこと等の地域の声が多く寄せられた。</p> <p>ミントポではこれまでに集まった地域の声を集計しており、全世代を通じて、まちの中に体験する場や居場所を求める声が多く集まった。中でも若年層からは居場所を求める声が多く寄せられ、「室内で遊べる場所が欲しい」「ゆっくりできるベンチ・イスがあるといいな」等の意見があった。</p> <p>今後、集計結果を地域の声として、ギャラリー区画にて展示し、地域住民へ情報発信していく予定。</p> 
<p>TAKENOTSUKA COFFEE TALK (地域のキーパーソンとの連携) [R7.11.5]</p>	<p>足立区を拠点に活動する方々をゲストへお迎えし、コーヒーを飲みながら現在の取り組みや今後の企みについてお話しただく交流型トークイベントの第2回を、前回(令和7年6月)の好評を受け開催(8人が参加)。</p> <p>ゲストの話をきっかけに、参加者同士の価値観が交差し、新たな繋がりが生まれ、「足立区で活躍する方と繋がれてよかった」「もっと詳しく聞きたかった」等といった好評の声を頂いた。また、「竹の塚のキーマンになっている方や地域のこだわりをもって働かれている方の話をもっと聞きたい」といった声もあった。</p> 